安全データシート

整理番号【803－5】

制定日　2021/06/07
改訂日　2025/05/16

1.化学品及び会社情報

化学品

化学品の名称　ひまわり洗剤専用リンス剤

供給者情報

会社　サラヤ株式会社
住所　大阪府大阪市東住吉区湯里2－2－8
担当部門　営業本部
電話番号　06-6797-2525
緊急時連絡番号　06-6705-1013

推奨用途及び使用上の制限:

推奨用途:自動食器洗浄機を使用した食器、器具類の乾燥仕上げ用。業務用。
使用上の制限:推奨用途以外の用途に使用しない。

2.危険有害性の要約

化学品のGHS分類:分類できない。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

成分:

グリセリン、グリセリン脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、
プロピレングリコール＜ラベル表示＞

4.応急処置

吸入した場合:

ミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気の風通しの良い場所に移動して
安静にする。何らかの異状を感じたときは、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:

流水でよく洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、すみやかに脱ぎ皮ふを流水でよく

洗い流す。何らかの異状を感じたときは、直ちに医師の診断を受ける。

眼に入った場合:

直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。
何らかの異状を感じたときは、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:

直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口から何も与えない。
ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。

その他:

使用中、眼に異状を感じたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、
直ちに使用を止めてその場から離れ、洗眼、うがいをする。
その後、直ちに医師の処置を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品または安全データシートを持参する。

5.火災時の措置

適切な消火剤:

水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。

使ってはならない消火剤:

情報なし

火災時の特定の危険有害性:

情報なし

特有の消火方法:

周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。
移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 :

消火作業では保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

保護具(保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護マスク等)を着用する。
漏出場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項:

雨水溝、河川、海上などに多量に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

スクイジーなどを用いてできる限り空容器などに回収する。
回収した後、または回収できないものは、多量の水で十分に洗い流す。

7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い:

技術的対策:

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項:

作業や製品容器の取扱い時は必ず保護具(保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護マスク等)を着用する。また、洗浄剤や洗浄機の付近では必ずゴム手袋を着用する。
キャップを開けるときに液が飛び出すことがある。また、容器を移動するときは
キャップをしっかり閉める。緩んでいると液が跳ねて眼や皮ふにつくことがある。
飛散した液やミストを吸い込んだり、眼に入らないようにする。
業務用食器洗浄機以外には使用しない。
他の薬剤、洗浄剤などとは絶対に混ぜない。
誤飲等事故のおそれがあるので、飲料用の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしない。
倒したり、こぼしたりしないように注意する。

接触回避:

情報なし

保管

安全な保管条件:

直射日光、40℃以上、多湿及び凍結のおそれがある場所を避けて密閉して保管する。
子どもや認知症の方の手の届かないところに保管する。

安全な容器包装材料:

専用の容器を使用する。

8.ばく露防止措置及び保護措置

許容濃度等:設定されていない
設備対策:取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。
保護具:必ず保護メガネ、炊事用ゴム手袋を着用する。

9.物理的及び化学的性質

物理状態:液体
色:淡黄褐色透明～半透明 (色相に変化があっても性能上は問題ない)
臭い:特異臭
沸点又は初留点及び沸騰範囲:情報なし
可燃性:情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:情報なし
引火点:なし(不燃性)

自然発火点:情報なし
分解温度:情報なし
pH:6．5(原液、25℃)
動粘性率:情報なし
溶解度:水に白濁状に分散する
蒸気圧:情報なし
密度及び/又は相対密度:1．05(25℃)
相対ガス密度:情報なし
粒子特性:情報なし

ヒ素[As2O3として]:0．05mg/L以下
(厚生労働省告示第370号食品、添加物等の規格基準)
重金属[Pbとして] :1．0mg/L以下
(厚生労働省告示第370号食品、添加物等の規格基準)
メタノール :1mg/g以下
(厚生労働省告示第370号食品、添加物等の規格基準)
全りん酸塩 :検出せず (JIS K 3362)
(注)数値はいずれも代表値で表示

10.安定性及び反応性

反応性:通常の取扱い条件において危険な反応を起こすおそれはない。
化学的安定性:通常の取扱い条件(屋内、常温)においては安定である。
危険有害性反応可能性:情報なし
避けるべき条件:直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態
混触危険物質:特になし
危険有害な分解生成物:情報なし

11.有害性情報

急性毒性:
(経口)使用原料の加算式判定の結果により、区分外とした
LD50＞2000mg／kg
(経皮)使用原料の加算式判定の結果により、区分外とした
LD50＞2000mg／kg
皮膚腐食性/刺激性:分類できない
眼に対する重篤な損傷/刺激性:分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性:分類できない
生殖細胞変異原性:分類できない

発がん性:分類できない
生殖毒性:分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):分類できない
誤えん有害性:分類できない

成分は全て食品、食品添加物公定書記載の試験に合格した原料のみで構成。

12.環境影響情報

生態毒性:情報なし
残留性・分解性:情報なし
生態蓄積性:情報なし
土壌中の移動性:情報なし
オゾン層への有害性:情報なし

13.廃棄上の注意

化学品，汚染容器および包装の安全で，かつ，環境上望ましい廃棄，またはリサイクルに関する情報
「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと
残余廃棄物:下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。
少量の場合は、水で十分に希釈して排出する。
多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。
使用済容器:使い終わった容器は、水で十分に洗ってから処理する。
内容物／容器の廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

14.輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと
国際規制
国連分類:該当しない
国連番号:該当しない
海洋汚染物質:該当しない
HSコード:3402. 50
国内規制:
特になし
輸送の特定の安全対策及び条件:
輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。
荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。

転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態での輸送は避ける。
水濡れを避ける。

15.適用法令

労働安全衛生法(安衛法):
名称等を表示すべき危険物及び有害物　法第57条、施行令第18条
名称等を通知すべき危険物及び有害物　法第57条の2、施行令第18条の2
・プロピレングリコール　1～5%(2025年4月1日以降)
化学物質管理促進法(PRTR法):該当しない
消防法:該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律:産業廃棄物

16.その他の情報

参考文献
NITE-Gmiccs　GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム

・本SDSはJIS Z 7253:2019に準拠しています。
・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
・注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。